



府食第1132号
平成16年11月9日

厚生労働省医薬品食品局
食品安全部 監視安全課長 殿

内閣府食品安全委員会事務局
評価課長

食品健康影響評価に係る資料の提出依頼について

平成16年10月15日付け厚生労働省発食安第1015001号をもって厚生労働大臣から食品安全委員会委員長に意見を求められた我が国における牛海綿状脳症（BSE）対策について、平成16年10月26日に開催された第15回プリオン専門調査会における審議の結果、別添のとおり資料が必要となりました。つきましては、お忙しいところ恐縮ですが、資料の提出をお願いいたします。



府食第1132号
平成16年11月9日

農林水産省
消費・安全局衛生管理課長 殿

内閣府食品安全委員会事務局
評価課長

食品健康影響評価に係る資料の提出依頼について

平成16年10月15日付け16消安第5410号をもって農林水産大臣から食品安全委員会委員長に意見を求められた我が国における牛海綿状脳症（BSE）対策について、平成16年10月26日に開催された第15回プリオン専門調査会における審議の結果、別添のとおり資料が必要となりました。つきましては、お忙しいところ恐縮ですが、資料の提出をお願いいたします。

厚生労働省及び農林水産省に対して要請する資料

1 現状および改善点

(資料全般について)

- ・ 諮問の4項目ごとに現状および改善点が比較可能な表であること (なお、作成する表は、諮問内容について「現状」、「見直し後」を網羅的に記載するとともに、「見直し」の理由欄を新たに設けて記載すること)。
- ・ 今後、専門調査会で定量的に評価を行うため、提出データは出来る限り数値化されていることが望ましい。
- ・ 2001年10月以前、現在、そして諮問に記載のある関連措置を施行後の諮問4項目に関するデータ

(農林水産省 BSE 関連施策)

- ・ 農林水産省の BSE に対するリスク管理に関する施策全般の説明 (2001年10月以前の施策の内容および問題点、現時点の施策内容とその効果予測、及びその効果が現れる時期の予測)

(情報提供)

- ・ リスク管理機関のリスクコミュニケーションの実態 (飼料規制農家、業者等への情報提供方法と明らかとなった問題点)

2 具体的な項目

(1) BSE検査

- ① 検査対象を全頭検査から21ヶ月齢以上に変更した場合に予測されると畜頭数と年齢(月齢)分布
- ② BSE検査キット(現段階で使用可能なキットの種類と世界における使用状況、問題点、価格(定価と実勢価格))

(2) SRM除去 (SRMの除去および汚染防止)

- ① EU、OIE、我が国においてSRMとして設定した臓器・組織名とそれらを設定した根拠
- ② ピッシング中止のための具体的な方針に関する資料
現在ピッシングを中止した、と畜場数、と畜頭数
ピッシング中止を目標とする、と畜場数、と畜頭数
施策の遵守達成状況の検証及び達成予想時期
- ③ SRM除去及びSRM汚染防止のための具体的な方法

④と畜場におけるSRM除去及びSRM汚染防止の効果に関して再度調査を行い、検証したデータ（平成15年3月13日付け監視安全課長「BSE対策等に係る調査結果」に記載の調査項目2, 3, 4に関して）

例) スタンニング法あるいはピッシング法による各々の方法を用いた処理頭数

脊髄を吸引あるいは押し出しにより除去した後の残量と各々の方法を用いた処理頭数

背割りによる脊髄片の推定飛散量

⑤SRM除去及びSRM汚染防止に関する今後の定期的な点検計画と具体的内容（回数、点検方法）

⑥と畜・解体作業のフローチャート（と畜検査員の関与の有無を含めて）

⑦各種作業実施記録の見本

⑧せき柱除去の現状（せき柱除去の検証方法とその結果）

(3) 飼料規制

①2001年10月に牛肉骨粉の使用が禁止される以前に製造された飼料及び肉骨粉の流通在庫の推移

②飼料の通常の使用可能期間と現状

③飼料規制について、これまで講じた規制内容及び実施時期、並びにそれらの遵守状況の検証結果（サンプリング方法、肥飼料検査所により検証した結果等）

④飼料の輸入状況（内訳、量、輸入国等）

⑤肉骨粉の検出感度と新たな検出方法に関する検討資料

⑥交差汚染防止に関して、飼料工場において交差汚染防止措置を講じた前後の汚染状況（汚染防止措置の具体的な提示、検証方法、結果）

⑦化製工場における交差汚染状況（牛用飼料用製造ラインと牛以外の動物用飼料ラインが分離されている工場数等）

(4) 調査研究

①これまでに各省が実施したBSEに関する調査研究事業についての概要（目的、成果、予算額、進捗状況等）及び今後の事業計画

(5) その他

①SRMの除去及び焼却義務付け前のSRM部位別の用途と消費仕向け量（将来のvCJD発生に関する定量的リスク評価に使用）

②トレーサビリティ遵守状況（実施頭数と現段階における問題点）

773



府食第1175号
平成16年11月22日

厚生労働省医薬品食品局
食品安全部 監視安全課長 殿

内閣府食品安全委員会事務局
評価課長

食品健康影響評価に係る資料の提出依頼について

平成16年10月15日付け厚生労働省発食安第1015001号をもって厚生労働大臣から食品安全委員会委員長に意見を求められた我が国における牛海綿状脳症（BSE）対策について、平成16年11月16日に開催された第16回プリオン専門調査会における審議の結果、別添のとおり資料が必要となりました。つきましては、お忙しいところ恐縮ですが、資料の提出をお願いいたします。



府食第1175号
平成16年11月22日

農林水産省
消費・安全局衛生管理課長 殿

内閣府食品安全委員会事務局
評価課長

食品健康影響評価に係る資料の提出依頼について

平成16年10月15日付け16消安第5410号をもって農林水産大臣から食品安全委員会委員長に意見を求められた我が国における牛海綿状脳症（BSE）対策について、平成16年11月16日に開催された第16回プリオン専門調査会における審議の結果、別添のとおり資料が必要となりました。つきましては、お忙しいところ恐縮ですが、資料の提出をお願いいたします。

厚生労働省及び農林水産省に対して要請する追加資料

(厚生労働省、農林水産省)

1. BSE 関連施策全般

国内措置見直し後の BSE 関連施策について、各々の具体的な達成目標値

(厚生労働省)

2. と畜・解体作業

①と畜検査員がどの段階で関与するかを明確に示したフローチャート

② SRM の除去・焼却に関する管理状況調査の方法

例) 全てのと畜場を対象にするのか

ランダムに抽出するのか

と畜場の規模別にランダムに抽出するのか

(農林水産省)

3. 飼料

①使用対象動物ごとに現在どのような飼料が使用されているのか、またそれらの検査体制、BSE 関連施策をまとめた表

②1996年以前、及び1996年から2001年までの反すう動物由来肉骨粉の牛、豚、鶏における使用状況

(農林水産省)

4. 輸入飼料

①肉骨粉等動物性たん白質の輸入状況 (年度ごとの輸入国及び輸入量)

②輸入配合飼料の主な成分

③肉骨粉等動物性たん白質の検出方法と今後の検査体制

(農林水産省)

5. 肥料

動物用飼料への転用の可能性と肥料の規制状況について

(厚生労働省、農林水産省)

6. 研究

今後の BSE 検査陽性牛に対する研究支援体制

例) 当該牛の輸送、採材に係る家畜伝染病予防法上特例措置の実施等